

環境にやさしい事業者



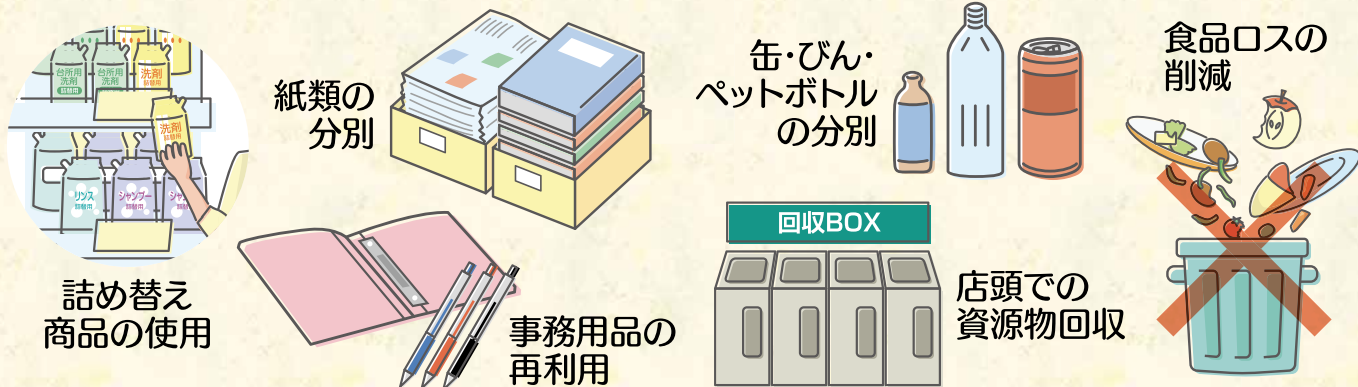
エコにこ
マイスター



エコにこ
ゴールドマイスター

を募集しています!

こんな取組を推奨しています(一例)



認定を受けると こんなメリットが!

- 認定証やステッカーが交付され、環境にやさしい事業者としてアピールできます。
- 市の広報誌やホームページで紹介されます。
- 市からごみ減量・リサイクルなどの情報が提供されます。

step 1 認定の申請

認定申請書に必要事項を記入のうえ、
仙台市環境配慮事業者認定委員会へ提出。
(申請書はワケルネット又は仙台市HPからダウンロード可)

step 2 審査

仙台市環境配慮事業者認定委員会での審査。
エコにこゴールドマイスターの場合は現地確認も行います。

step 3 認定

認定証とステッカーを交付。
市の広報誌やホームページ等で広く紹介。

step 4 更新

認定期間はエコにこマイスターは3年間、
エコにこゴールドマイスターは5年間。
認定期間終了前に更新認定申請書を提出。

詳しくは市ホームページまたはワケルネットをご覧ください

発行 仙台市環境配慮事業者認定委員会(事務局 仙台市環境局廃棄物企画課)

〒980-0802 仙台市青葉区二日町6-12 MSビル二日町3階
TEL: 022-214-8230 FAX: 022-214-8840

バックナンバーは、仙台市ごみ減量・リサイクル情報総合サイト「ワケルネット」(<http://www.gomi100.com>)に掲載しています。

令和3年3月発行



環境に
配慮しながら事業推進する
事業者を紹介します!



仙台市
「エコにこマイスター」「エコにこゴールドマイスター」



「エコにこマイスター」「エコにこゴールドマイスター」とは？

ごみの減量やリサイクルの推進などに積極的に取り組んでいる環境にやさしい事業者を「エコにこマイスター」「エコにこゴールドマイスター」として認定しています。

環境配慮の一例

Reduce<発生抑制>

- 無包装、簡易包装の推進
- 使い捨て商品の使用自粛



Reuse<再利用>

- 事務用品等の消耗品の再利用の促進
- 通い箱等による容器包装の削減



Recycle<再利用>

- 紙類、缶、びん、ペットボトルの分別・リサイクルの推進



「エコにこゴールドマイスター」に認定された事業者に認定証と楯を贈呈

令和2年度は認定証授与式に代えて、事業所を訪問しお渡ししました。



「エコにこゴールドマイスター認定」企業訪問

日本たばこ産業株式会社東北支社

企業紹介

1985年に日本たばこ産業株式会社（JT）を設立。現在、国内外でのたばこの製造販売と、医薬事業や加工食品事業を展開しています。JTでは「ひとのときを、想う。」という企業思想のもと、「かけがえないひととき」や「大切な時間」を想う企業だからこそ生み出せる価値をお届けしたいと考えています。

また、すべてのお客様一人ひとりの心をより豊かにしていきたいとの想いで、さまざまな活動を行っております。東北支社では、東北6県の営業支店をサポートする支社として、たばこを吸われる方、吸われない方双方の共存を目指した様々な活動に取り組んでいます。私たちは全社としてSDGsを支持しており、事業活動を通じてSDGsに貢献してまいります。



(左から)営業総務部 千葉さん、熊谷さん、リレーション推進部 高祖さん、営業総務部 石川部長、リレーション推進部 竹澤さん



(左から)相原さん、引地さん、真野社長、桃井さん、岡田さん

JACグループ 株式会社ジェーエーシー

企業紹介

私たちが目指すのは、廃棄物に新たな価値を与えることで未来のまちづくりに貢献する「リサイクルの7次産業化」。リサイクルを起点として、1次産業（リサイクル事業・建設事業・環境事業）+2次産業（生産・加工事業）+3次産業（サービス業）＝「6次産業化」を推進。これに、地域特性を生かした価値あるものを消費者へと届ける仕組みをプラスすることで、「リサイクルの7次産業化」を実現するシステムの構築を目指しています。

我が社の3R活動

資源の節約およびリサイクル ～エコノミー≡エコロジー～

JT仙台ビルでは資源を無駄にしない、「お財布感覚」を常に意識しています。

また転勤者が出た際には不要な文房具を回収、リサイクル使用しております。



事務用品の値段やコピー・印刷代を掲示し、リデュースを推進



温室効果ガス排出量、廃棄物削減、森林保全など、持続可能なサプライチェーンの構築に向けて

経営理念に基づき、マテリアリティ分析を踏まえたサステナビリティ戦略（「人権の尊重」「環境負荷の軽減と社会的責任の発揮」等）を策定しています。これらの戦略の中で、温室効果ガス排出量、水資源の使用の節減、廃棄物削減、森林保全など、持続可能なサプライチェーンの構築に向けて取り組んでいます。また、地域での取り組みとして、「一般社団法人花降る街仙台」さんの「仙台を花の街に計画」に参加しています。これは東北の玄関口である仙台駅ペDESTリアンデッキに花を植栽し、人と人との交流を生み出すことで、今後100年続く「杜の都仙台」の街づくりを目指す活動です。



市民の皆さんと一緒に花壇の手入れや駅前清掃活動など行っています。

環境に関わるごみの減量・リサイクル推進の取り組みは消費者ひとり一人の意識改革から…。

生活で発生するごみを削減するには家庭での取り組みが大事と考えた私たちJACは、蔵王町に資源リサイクル工場を新設以来、約10年間に渡りゴミがどのように処分されていくのかという一連の全工程を一般の消費者、諸団体の皆様に無償で公開して参りました。特に容器包装のリサイクルを得意とする当社のゴミ分別工程を見学して頂くことで、マテリアルリサイクルできる工程と、できない工程を実際に見て・触れて頂くことで、家庭で出す段階できちんと分別する事が大事なんだなあと改めて認識して頂いております。なお、これまでの工場見学者は年間平均で約1千名ちかい方々にご見学をいただいております。（只今はコロナ禍の為、工場見学を自粛させていただいております）



工場見学の様子

我が社の3R活動

オンライン会議を積極的に導入

コロナ禍に入って以来、各事業所へオンライン会議システムを積極的に導入することで紙類や出張旅費が大幅に削減、一方、営業部に於ける得意先様向けのプレゼン商談も全てタブレットを用いる事で紙から動画化した事でスムーズな商談に繋がりが成約数も徐々に増えてきています。



オンライン会議導入で紙類削減

環境に優しい企業として

マナーの大切さを広めるため、様々なパートナーと清掃活動をおこなっています。

深沼ビーチクリーンへの参加 ～SDGs活動を通じて考える～

毎月第2日曜日に仙台市若林区の海岸で開催されている深沼ビーチクリーンに参加させて頂いております。地域の皆様と海岸清掃活動を通じて、社会・地域の本質的な課題解決に向けて取り組んでいきます。



深沼ビーチクリーン参加メンバー

仙台まち美化サポーター ～ひろえば街が好きになる運動を通して～

仙台まち美化サポーターとして、隔週の木曜日に職場の周辺地域の清掃活動を実施しております。弊社では、「ひろう」という体験を通じて「すてない」気持ちを育てたいという願いのもと、市民参加型の清掃活動も実施しております。



清掃活動の様子

製品の包装資材の簡素化

JTでは資源の節約およびごみの発生量を抑制するため、製品の包装資材の簡素化に取り組んでいます。



包装資材の簡素化の例

「地域のことから、地球のことまで」をフィロソフィとし、「リサイクルの7次産業化」に取り組んでいます。

環境に優しい企業として

アップサイクルブランド「SHINZEN」を立ち上げ。

人々が生活する上で不用となり廃棄されたモノに、アイデアを加えることで、より良いモノに生まれ変わらせる、暮らしのスタイルを提案しています。



JACグループ「真野屋」で展開

森林の間伐材を利用した新シザーズ構法の確立で豊かな循環型社会を目指して

森林の間伐材に目を向けた当社は新たな使い道を工夫した結果、ボルトだけで簡単に作成できる新シザーズトラス構法を開発。この取り組みが「2019年度のグッドデザイン賞」という形で受賞することが出来ました。



「新シザーズトラス構法」による建物

ゴミゼロを目指して

社内での出るごみは、生ごみ以外を17項目に分類し、マテリアルリサイクルとして再利用。また、各従業員や地元地域の皆様から家庭の資源ごみを会社に持ち込んで貰うことでポイントに交換できる取り組みも行っています。



地域の子ども達によるエコキャップアート



17分別の回収コーナー